

令和3年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 菅野 茂男
学校関係者評価委員会事務局

令和2年度 前年度の改善方策について実行した改善結果

1 「主体的な学習やSDGsへの取組に向けて」について

(1) 感染予防策により、話し合い活動に制限があったにもかかわらず、学校関係者評価生徒用アンケートの「授業では、生徒の話し合いや発表などの機会がある」の肯定的評価が95%程度であった。これは「先生は、映像やタブレットなどのICTを利用している」の項目についてどの学年も生徒の90%程度が肯定的評価を示したことで分かるように、多くの教員がICTを積極的に使用して授業や学級活動を行い、互いの意見を共有したり、それをもとに考察を深めるなどの活動の成果であると考ええる。

(2) 新聞を授業で活用する取組は年間を通して授業等で行っている。また、本年度のNIE全国大会でも本校の授業実践が紹介された。学校関係者評価生徒用アンケートの「私は、NIEタイムやNIEコーナーにより、新聞に興味をもつようになった」の項目において、3年生は昨年度47%の肯定的評価であったのが57%と大きく上回った。2年生は昨年度と横ばいの評価であったが、1年生も3年生と同様に肯定的評価が58%であった。

(3) ユネスコスクール加盟校として、屋上緑化などの校内の自然環境を守りながら、道徳など様々な教育活動を通して一人一人を大切にする心の教育を進め、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得させた。

2 「豊かな人間関係づくりに向けて」について

(1) 感染予防策により、集団活動や体験活動に制限があったが、各授業や学級活動等を通して社会の一員としての自覚と豊かな人間性を育てる教育の充実を進めてきた。その結果、本校の3つの教育目標にかかわる学校関係者評価生徒用アンケートの項目において、どの項目についても90%程度の肯定的評価があり、昨年度を大きく上回った。

(2) 学校行事も様々な制約がある中での実施であったが、できる限りの行事を実施してきた。学校関係者評価保護者用アンケート、生徒用アンケートともに「学校行事は達成感がある」の項目において肯定的評価は90%程度と高い評価を維持したが、とても思う、という強い肯定的評価が、昨年度からかなり大きく伸びた。

3 「健康に生活する力を培うために」について

(1) 保健体育の授業に対する理解や充実感については、生徒アンケートによると3年生は90%を超える高い評価を示し、1, 2年生も80%を大きく超えた。また、学校関係者評価保護者用アンケートの「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」の項目において、どの学年も80%を超える高い肯定的評価を得た。

(2) 食育の充実に向けて引き続きオリパラ給食を実施した。また、給食の献立に行事食や郷土料理を盛んに取り入れ、給食日よりや保健日よりなどを通じて食事を大切にするここと健康に留意した生活を送ることについて情報発信を行い、食育の充実につなげた。

(3) 生徒が自立的に、学習管理はもとより、生活リズムを意識させて基本的な生活習慣を確立させるために、どの学年も生徒一人一人にスケジュール帳を配付、作成させた。